

平成30年度 医学部 別表（1）

医学部 第1学年 前期

科目名		単位	備考
基礎科目	医療物理学	1	必修
	有機化合物の構造と性質	1	
	細胞の構造と機能	1	
	遺伝子と生命活動	1	
	生物の進化と多様性	1	
	統計的推測の基礎	1	
	Freshman English	1	
	English for Healthcare Communication	1	
	総合サイエンス臨床実習入門	1	
	ヒューマンコミュニケーションA	1	
アカデミックスキルズ	1		
教養科目	ドイツ語A	1	3科目選択必修
	フランス語A	1	
	中国語A	1	
	日本語文章論A	1	
	文学A	1	
	美術A	1	
	生涯発達心理学*	1	
	人間と宗教	1	
	ジェンダーの社会学	1	
	社会関係と自己	1	
	民主主義と政治構造	1	
	法学*	1	
	数学A	1	
	医療物理学*	1	
	感染症とバイオセーフティ	1	
	ヒトのための地球環境論*	1	
	植物と健康の科学	1	
薬の歴史と効果*	1		
フリーラジカルと磁気共鳴*	1		
情報リテラシー	1		
療法的な音楽活動	1		
専門科目	医学実習と生命徴候	1	必修
	形態学概論Ⅰ	1	
	人体骨格の基礎	1	

医学部 第1学年 後期

科目名		単位	備考
基礎科目	生体の物質的代謝	1	必修
	個体の調節機構とホメオスタシス	1	
	統計手法の応用	1	
	推測統計(演習)	1	
	人の行動と心理	1	
	医学英語入門	1	
	ヒューマンコミュニケーションB	1	
	チーム医療の基盤	1	
	ドイツ語B	1	
	フランス語B	1	
教養科目	中国語B	1	3科目選択必修
	日本語文章論B	1	
	文学B	1	
	美術B	1	
	医療人としてのコミュニケーション入門	1	
	薬用植物の科学	1	
	ジェンダーの社会学	1	
	法学*	1	
	歴史遺産への招待(京都)	1	
	数学B	1	
	感染症とバイオセーフティ	1	
	死生観	1	
	近代家族論	1	
	国際政治学	1	
	ヒトのための地球環境論	1	
	植物と健康の科学	1	
	薬の歴史と効果	1	
	言語文化論*	1	
	フリーラジカルと磁気共鳴*	1	
	医療面接のための英語(入門)	1	
感性を掘り下げる色彩と造形	1		
ポートランド州立大学サマープログラム	1		
専門科目	医化学	1	必修
	生理学	1	
	形態学概論Ⅱ	1	
	医師への序章	1	
	早期臨床体験実習Ⅰ(初年次体験実習)	1	
	基礎サイエンス医学部実習	2	

教養	フレッシュマンセミナー	1	必修(通期)
基礎	健康と運動の科学	2	必修(通期)
基礎	地域医療入門	2	必修(通期)

前期必修科目数 17科目

前期必要要件単位数 17単位

後期必修科目数 17科目

後期必要要件単位数 18単位

※太字は実技・演習科目

*は開講しない科目

通期必修科目数 3科目/必要要件単位数 5単位

最低履修科目数37科目/必要要件単位数 40単位

■医学部第2学年 別表(2)

コース名 (コース責任者)	ブロック (ブロック責任者)	配点	ユニット (ユニット責任者)		単位数	コマ数	
前期	A 生化学	100	血液の生化学	生化学	1	4	
			脂質の生化学	生化学		5	
			細胞内情報伝達	生化学		3	
			タンパク質特論	生化学		3	
	B 解剖学(顕微解剖学部門)	200	組織の構造と個体発生	解剖学(顕微解剖学部門)	2	15	
			消化器・生殖器の解剖	解剖学(顕微解剖学部門)		10	
	C 解剖学(肉眼解剖学部門)	300	運動器系の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門)	3	12	
			神経系の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門)		12	
			循環器系・呼吸器・泌尿器の解剖	解剖学(肉眼解剖学部門)		15	
	D 生理学(生体制御学部門)	200	神経・筋の生理	生理学(生体制御学部門)	2	12	
			中枢神経の生理	生理学(生体制御学部門)		16	
	E 解剖学(顕微解剖学部門)	200	リンパ・内分泌・感覚・外皮の解剖	解剖学(顕微解剖学部門)	2	12	
			ヒトの時間生物学	解剖学(顕微解剖学部門)		11	
	F 生理学(生体制御学部門)	100	感覚の生理	生理学(生体制御学部門)	1	13	
G 生理学 (生体調節機能学部門)	300	内分泌の生理	生理学(生体調節機能学部門)	3	7		
		血液・造血の生理	生理学(生体調節機能学部門)		5		
		生殖器の生理	生理学(生体調節機能学部門)		3		
		体温の生理	生理学(生体調節機能学部門)		2		
		腎・尿路の生理	生理学(生体調節機能学部門)		6		
		循環の生理	生理学(生体調節機能学部門)		8		
	合否	生化学実習	生化学		※ 8		
	合否	組織学実習	解剖学(顕微解剖学部門)		※ 40		
医学総論 I (生理学 (生体制御学部門))		合否	「在宅医療を支えるNBMと倫理」学部連携PBLチュートリアル	医学教育推進室		○ 4	
			English for Global Communication	英語		○ 8	
			生命(いのち)の講座	解剖学(肉眼解剖学部門)		○ 7	
			早期臨床体験実習 II (病院体験実習)	解剖学(肉眼解剖学部門)		※ 23	
前期合計	7ブロック	1400			14	264	
後期	H 微生物学	200	免疫の働きを担う器官、細胞と分子	微生物学	2	12	
			免疫の生理学的と病理学的役割	微生物学		9	
	I 微生物学	200	細菌と真菌	微生物学	2	22	
	J 生理学 (生体調節機能学部門)	200	消化器の生理	生理学(生体調節機能学部門)	2	5	
			呼吸の生理	生理学(生体調節機能学部門)		7	
			代謝の生理	生理学(生体調節機能学部門)		2	
			病態生理	生理学(生体調節機能学部門)		5	
	K 薬理学(臨床薬理学部門)	200	自律神経・神経筋接合部の薬理	薬理学(医科薬理学部門)	2	11	
			生体と薬物	薬理学(臨床薬理学部門)		15	
	L 微生物学	200	寄生虫	微生物学	1	6	
			ウイルス	微生物学		13	
	臨床基礎医学 (臨床病理診断学)	M 臨床病理診断学	200	病理病態総論 I	臨床病理診断学	1	16
				病理病態総論 II	臨床病理診断学		16
O 薬理学(医科薬理学部門)		200	循環・腎・呼吸・消化・代謝異常症の薬理	薬理学(臨床薬理学部門)	1	10	
			中枢神経系の薬理	薬理学(医科薬理学部門)		7	
P 臨床感染症学	200	感染症	臨床感染症学	2	20		
社会医学 I (衛生学公衆衛生学)	Q 衛生学公衆衛生学	100	環境衛生	衛生学公衆衛生学	1	15	
臨床医学 I (外科学 (呼吸器外科学部門))	R 外科学 (呼吸器外科学部門)	100	外科学総論	外科学(呼吸器外科学部門)	1	14	
基礎医学 III (解剖学(肉眼解剖学部門))		合否	肉眼解剖学実習	解剖学(肉眼解剖学部門)		※ 80	
後期合計	11ブロック	2000			16	285	
前後期合計	18ブロック	3400			30	549	
	必修ユニット数		38ユニット				
	実習ユニット数		4ユニット			※印は実習	
	演習ユニット数		3ユニット			○印は演習	
	合計ユニット数		45ユニット				

項目	不合格ブロック・ ユニット数	合格基準点	判定
定期試験	0	—	進級※
	1~7	—	再試験受験資格あり
	8以上	合格基準点総和(2,040点)以上	〃
		合格基準点総和(2,040点)未満	留年
再試験	0		進級※
	1以上		留年
演習・実習	0		進級※
	1以上		留年

※進級は医学部履修要項第11条による。

■医学部第3学年 別表(2)

	コース名 (コース責任者)	ブロック (ブロック責任者)	配点	ユニット (ユニット責任者)		単位数	コマ数
前期	臨床医学Ⅰ (内科学 (呼吸器・アレルギー 内科学部門))	A 内科学 (循環器内科学部門)	200	循環器	内科学(循環器内科学部門)	2	20
		B 内科学 (呼吸器・アレルギー 内科学部門)	200	呼吸器	内科学 (呼吸器・アレルギー内科学部門)	2	20
		C 外科学 (消化器・一般外科学 部門)	200	消化管	外科学 (消化器・一般外科学部門)	2	20
		D (泌尿器科学)	200	腎 泌尿器	内科学(腎臓内科学部門) 泌尿器科学	1	9 10
		E 内科学 (腫瘍内科学部門)	100	腫瘍学	内科学(腫瘍内科学部門)	1	15
	社会医学Ⅱ (法医学)	F 衛生学公衆衛生学	200	保健・医療・福祉と介護	衛生学公衆衛生学	2	20
		G 法医学	200	法科学 法医学	法医学	2	11 13
	臨床基礎医科学 (医学教育推進室)	H 症候学Ⅰ	200	症候学Ⅰ	医学教育推進室	2	20
			可否	臨床医学演習(チュートリアル) 1	医学教育推進室		25
	基礎医科学Ⅲ (生理学(生体制御学部門))		可否	生理学実習 微生物学実習	生理学 微生物学		※24 ※26
	医学総論Ⅱ (生理学(生体調節機能 学部門))		可否	地域医療実習	医学教育推進室		※18
				衛生学実習	衛生学公衆衛生学		※20
	前期合計	8ブロック	1500			14	271
後期	臨床医学Ⅱ (内科学(呼吸器・ア レルギー内科学部 門))	I 内科学(消化器内科学部門)	200	肝・胆・膵	内科学(消化器内科学部門)	2	20
		J 形成外科学	100	形成・再建・再生医学 リハ・介護・在宅医療	形成外科学 リハビリテーション医学	1	4 10
		K 内科学(血液内科学部門)	200	血液・造血器 緩和医療	内科学(血液内科学部門) 内科学(緩和医療科学部門)	2	17 3
		L (糖尿病・代謝・内分泌 内科学部門)	200	免疫・膠原病 内分泌・代謝・栄養	内科学 (リウマチ・膠原病内科学部門) 内科学 (糖尿病・代謝・内分泌内科学部門)	2	6 20
		M 産婦人科学	200	生殖・産婦人科	産婦人科学	2	25
		N 精神医学	200	臨床検査 精神医学	臨床病理診断学 精神医学	2	10 11
		O 脳神経外科学	200	神経	脳神経外科学・脳神経内科学	2	24
		P 整形外科学	200	運動器 放射線医学	整形外科学 放射線医学	2	14 9
		Q 皮膚科学	100	皮膚	皮膚科学	1	13
			可否	臨床医学演習(チュートリアル) 2 チーム医療とコミュニケーション	医学教育推進室 医学教育推進室		○25 ○14
	医学総論Ⅲ (生理学(生体制御学部門))	R 生理学(生体制御学部門)	100	統合医学	生理学(生体制御学部門)	1	15
			可否	医療面接・医師と患者	医学教育推進室		○12
			可否	医学英語A	微生物学		○12
後期合計	10ブロック	1700			17	264	
前後期合計	18ブロック	3200			31	535	
	必修ユニット数			25ユニット			
	実習ユニット数			4ユニット			
	演習ユニット数			5ユニット			
	合計ユニット数			34ユニット			

項目	不合格ブロック・ ユニット数	合格基準点	判定
定期試験	0	—	進級※
	1~7	—	再試験受験資格あり
	8以上	合格基準点総和(1,920点)以上 合格基準点総和(1,920点)未満	〃 留年
再試験	0		進級※
	1以上		留年
演習・実習	0		進級※
	1以上		留年

※進級は医学部履修要項第11条による。

■医学部第4学年 別表(2)

	コース名 (コース責任者)	ブロック (ブロック責任者)	配点	ユニット (ユニット責任者)		時間数
前期	臨床医学Ⅲ (小児科学)	A 耳鼻咽喉科学	200	耳鼻咽喉・口腔	耳鼻咽喉科学	34
		B 薬理学(臨床薬理学部門)	200	臨床疫学	衛生学公衆衛生学	16
				臨床薬理学	薬理学(臨床薬理学部門)	28
		C 眼科学	100	眼	眼科学	28
		D 小児科学	200	小児医学 (小児内科・小児外科)	小児科学	48
		E 麻酔科学	100	麻酔・蘇生医学	麻酔科学	22
		F 救急・災害医学	200	危機管理入門	救急・災害医学	10
				医療倫理	救急・災害医学	10
				中毒	救急・災害医学	8
				救急医学	救急・災害医学	10
				C B T 特別講義	放射線医学	38
		合否		基本的診察技法実習	内科学(呼吸器内科学部門)	44
		合否		治療系実習	消化器外科学	20
		合否		診断系実習	放射線医学	26
社会医学Ⅲ (法医学)		合否	法医学実習	法医学	24	
基礎医学Ⅳ (薬理学)		合否	病理学実習	臨床病理診断学	80	
			薬理学実習	薬理学	44	
臨床医学Ⅲ (小児科学)		合否	チーム医療実践の基盤チュートリアル	医学教育学	24	
			「在宅チーム医療」PBLチュートリアル		8	
		合否	医学英語B	内科学 (糖尿病・代謝・内分泌内科学部門)	16	
前期合計	6ブロック		1000		530	
後期	ローテーション型 臨床実習		合否	臨床実習前演習	M4試験委員長	32
		臨床実習Ⅰ	180	内科学*1	M4試験委員長	315
			200	外科学*2・小児科学・産婦人科学		350
		G 臨床総合試験Ⅰ (内科系)	200	内科学*1	M4試験委員長	-
		H 臨床総合試験Ⅰ (外科系)	200	外科学*2・小児科学・産婦人科学		-
	I 臨床総合試験Ⅰ (症候学Ⅱ)	100	症候学Ⅱ	医学教育学	60	
後期合計	3ブロック		500		757	
前後期合計	9ブロック		1500		1287	
必修ユニット数				13ユニット		※印は実習 ○印は演習
実習ユニット数				6ユニット		
演習ユニット数				3ユニット		
合計ユニット数				23ユニット		

項目	不合格ブロック・診療科 ユニット数	合格基準点	判定
ローテーション型臨床実習	0	—	進級※
	1以上	—	再実習
定期試験・臨床総合試験Ⅰ (内科系・外科系・症候学Ⅱ)	0	—	進級※
	1~3	—	再試験受験資格あり
	4以上	合格基準点総和(900点)以上 合格基準点総和(900点)未満	"/ 留年
再試験	0		進級※
	1以上		留年
演習・実習	0		進級※
	1以上		留年

※進級は医学部履修要項第11条第4項による。

*1内科学：呼吸器・アレルギー内科、リウマチ・膠原病内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、脳神経内科、腫瘍内科
*2外科学：呼吸器外科、心臓血管外科、消化器・一般外科、小児外科、乳腺外科、脳神経外科

■平成30年度M5カリキュラム 別表(2)

科目		責任者	配点	時間数
ローテーション型 臨床実習	臨床実習Ⅱ※1、2	M5試験委員長	120	840
	地域医療実習	医学教育学	10	28
	臨床総合試験Ⅱ A科目※1	M5試験委員長	120	-
	臨床総合試験Ⅱ B科目※2		120	
	臨床総合試験Ⅱ 症候学Ⅲ(総合講義)※3	医学教育学	80	51
公衆衛生ゼミナール	衛生学公衆衛生学	10	49	
診療参加型臨床実習	M5試験委員長	合否	560	
合計			460	1528

※1 精神医学、放射線医学、臨床病理診断学、リハビリテーション医学、皮膚科学、救急・災害医学

※2 形成外科学、整形外科、泌尿器科学、耳鼻咽喉科学、眼科学、麻酔科学

※3 消化器内科学、腎臓内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、血液内科学、脳神経内科学、腫瘍内科学、リウマチ・膠原病内科学、感染症内科学、消化器・一般外科学、小児科学、小児外科学、産婦人科学、精神神経医学、リハビリテーション医学、整形外科、泌尿器科学、救急・災害医学

進級要件

項目	不合格科目数(診療科数)	判定	
ローテーション型臨床実習 診療参加型臨床実習	0	進級※4	
	1以上	再実習	
臨床総合試験Ⅱ ※臨床総合試験ⅡはA科目、B科目および症候学を合わせて1科目とする。	0	進級	
	1	臨床実習の評価点が6診療科以上において6割以上の場合	再試験
		臨床実習の評価点が6診療科以上において6割未満の場合	留年

※4進級には臨床実習Ⅱ・Ⅲ、公衆衛生ゼミナールおよび臨床総合試験Ⅱにそれぞれ合格する必要がある。

■医学部第6学年 別表(2)

第6学年(診療参加型臨床実習)

科目名		前期	科目数	時間数
専門科目	診療参加型臨床実習	※	1	420

※印は臨床実習 必修科目数1科目

第6学年(集中講義・総合試験・卒業試験)

科目名		前期・後期	科目数	時間数	
専門科目	内科系	内科学 *1	○	1	42
		小児科学	○	1	10
		放射線医学	○	1	2
		皮膚科学	○	1	2
		精神医学	○	1	2
	外科系	外科学 *2	○	1	12
		脳神経外科学	○	1	3
		産婦人科学	○	1	18
		整形外科学	○	1	2
		麻酔科学	○	1	2
		眼科学	○	1	2
		耳鼻咽喉科学	○	1	2
		泌尿器科学	○	1	3
		形成外科学	○	1	2
		救急医学	○	1	2
	病理系	臨床病理診断学	○	1	4
	社会医学系	衛生学	○	1	6
		公衆衛生学	○	1	10
		法医学	○	1	2
合計			19	128	

○印は集中講義 必修科目数19科目

*1内科学：呼吸器・アレルギー内科、リウマチ・膠原病内科、糖尿病・代謝・内分泌内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、神経内科、腫瘍内科、緩和医療科、感染症内科、プライマリーケア

*2外科学：心臓血管外科、呼吸器外科、消化器・一般外科、小児外科、乳腺外科